

<イベントレポート>

2022年北京オリンピック 金メダリスト 平野歩夢選手が登壇！

W杯優勝から2026年冬季五輪へ「自分を乗り越える」

TCL ブランドアンバサダー就任式&新商品発表会

～AIによる節電機能を搭載し、日本専用に開発された新型エアコンも先行公開～

TCL JAPAN ELECTRONICS（本社：東京都中央区、代表取締役 蒋 贊）は、スノーボード選手 平野歩夢さんをTCL ブランドアンバサダーに迎えるとともに、AIによる節電機能を搭載し、日本専用に開発された新型エアコンの発表にあたり、2025年12月15日（月）、「TCL ブランドアンバサダー就任式&新商品発表会」を開催いたしました。

本発表会では、まずTCL JAPAN ELECTRONICS 代表取締役の蒋 贊より、日本市場における家電事業の展開方針について説明が行われました。続いて、マーケティング戦略本部 本部長の久保田 篤より、今後の日本市場におけるブランド戦略をご説明しました。その後、営業部 部長の杉原 俊博より、AIによる節電機能を搭載し、日本専用に開発された新型エアコンが発表され、TCL の日本でのさらなる製品展開への期待が高まる内容となりました。

発表会後半には、TCL ブランドアンバサダーに就任した平野歩夢選手が登壇。スノーボード W杯第1戦を終えた現在の心境や、今後も世界の舞台に挑戦し続ける決意について、「熱き決意と挑戦」をテーマにしたトークセッションが展開されました。



左から久保田、蒋、平野選手、杉原

■ 日本市場における家電展開について（代表取締役 蒋 贊）



代表取締役の蒋 贊は、日本市場におけるTCL家電事業の展開戦略について説明しました。冒頭、「皆様に私たちのブランドの想いと、これからのお挑戦を直接お伝えできることを大変嬉しく思っています」と挨拶。

TCLは、テレビを中心に、スマートホーム、スマートビルディング、スマートエネルギーなど、人々の生活に直結する分野で事業を展開しており、「世界中のユーザーに、よりインテリジェントで、より健康的なライフスタイルを提供することを目指しています」と、TCLのビジョンを示しました。

また、Mini LEDや量子ドット技術などの最先端テクノロジーへの積極的な投資に加え、世界24カ所の研究開発センターと、世界各地に14の製造拠点を有する強固なグローバル体制を紹介。「TCLは今もなお成長の途上にあります」と述べ、日本市場におけるさらなる事業拡大への強い意欲を示しました。

■ 今後のブランド戦略について（マーケティング戦略本部 本部長 久保田 篤）



マーケティング戦略本部 本部長の久保田 篤は、今後の日本市場におけるTCLのブランド戦略について説明しました。TCLは、パネル開発から製品化、販売までを一貫して手がけるグローバル企業であることを紹介。

ブランド理念である「INSPIRE GREATNESS（偉大さを生み出し、挑戦し続ける）」を掲げ、革新的な技術開発と新たなライフスタイルの提案を通じて、常に進化を続けていく姿勢を示しました。

特に、世界販売台数1位を獲得したMini LED技術や量子ドット技術を搭載したテレビ「Cシリーズ」を中心に、ブランド認知度の向上を目指すと説明。さらに、この理念を体現する存在として平野歩夢選手をTCLブランドアン

バサダーに起用した背景について触れ、平野選手の「世界を相手に挑戦し続ける姿勢」がTCLの理念と深く共鳴していると語りました。ブランドの「挑戦と革新」の精神を体現することで、日本市場における信頼獲得につなげていく戦略的な意図が明かされました。

■ AI 節電機能を搭載した新型エアコンを発表（営業部 部長 杉原 俊博）



続いて登壇した営業部 部長の杉原俊博より、AIによる節電機能を搭載し、日本専用に開発された新型エアコンの詳細が発表されました。

本製品は、日本の気候やユーザーニーズに対応したエントリータイプとして、6畳用2.2kW モデルを含む全4機種を、2026年1月より販売開始予定としています。

最大の特長として、杉原は「AIが温度変化を先読みし、運転を自動で最適化するAI節電機能を全機種に搭載している点」を強調。快適性を維持しながら、無理のない節電を実現します。さらに、そよ風のような心地よい風を実現する「優しい風フラップ」や、室温が一定の基準を超えると自動で運転を開始する「室温パトロール機能」など、安心機能も充実。本製品は、-15°Cから55°Cまでの幅広い温度域に対応し、日本の厳しい気候条件にも適応します。「より良質で豊かな生活を、これらの製品を通じて日本のお客様に提供してまいります」と、今後への意欲を述べました。

■平野歩夢選手 TCL ブランドアンバサダー就任式

発表会のハイライトとして、2022年北京オリンピック金メダリストの平野歩夢選手がステージに登壇。MCから3日前に行われたスノーボードW杯第1戦での優勝が紹介され、会場は大きな拍手に包まれました。

平野選手は、シーズン初戦となった同大会について、「怪我をしないことを一番に考え、状況を冷静に判断しながら次につなげることを意識して臨んだ」と振り返りました。さらに今後について、「ここからさらに追い込んで、進化した姿を届けられたら」と語り、常に限界を超えることに挑み続ける姿勢を強調しました。



続いて、TCL ブランドアンバサダー就任式が執り行われ、平野選手は「TCLと一緒に歩んでいけることを、大変光栄に思います」とコメント。TCL が掲げる革新への姿勢と、平野選手の挑戦を続ける姿勢が重なり合う瞬間となり、会場は温かい拍手に包まれました。



■平野歩夢選手 トークセッション 世界の頂点を見据えた「飽くなき挑戦」

発表会の締めくくりとして、「さらなる世界の舞台を見据え、熱き決意と挑戦」をテーマにしたトークセッションが開催しました。

まずは会場ステージ両サイドに設置されたTCLのテレビに触れながら、平野選手の日常や競技への向き合いについても語られました。

MCから「普段、映像を観る際にモニターのサイズや画質を意識することはあるか」と問われると、平野選手は海外遠征時の生活を振り返りながら次のようにコメントしました。

「海外遠征などで生活している時は、リラックスして過ごす時間にテレビで好きな映像を観ることが多いです。ベッドでゆっくりしながら観るのが好きですね」と、オフの時間の過ごし方を紹介。さらに競技面においても、「普段はスマートフォンで自分の映像を確認することも多いですが、テレビがあると携帯からつないで大きな画面で観られるので、見やすく、イメージもしやすい」と、大画面ならではの利点を挙げました。

スノーボード競技ならではの視点として、「回転の動きは速いため、スロー再生で細かい部分を確認したい時、小さい画面では見づらいこともあるが、大きい画面だと気づきやすい」と語り、イメージトレーニングや振り返りの場面で、大画面が有効であることを明かしました。また、「兄弟と一緒に映像を観ながら『今の着地どうだっ

た?』と意見を交わすこともでき、一人で観るより客観的に振り返れる」と、チームで共有する映像の価値についても言及しました。

これを受け MC は、TCL のテレビが追求する「映像の美しさ」と「動きの滑らかさ」に触れ、「挑戦を続けるアスリートを支えるテクノロジー」としての親和性を紹介。競技とテクノロジーの関係性を感じさせるやり取りとなりました。



その後、W杯第1戦を終えた現在の心境について、平野選手は「初戦だったので、怪我をしないことと冷静な状況判断を意識して挑んだ。無事に結果を残せてよかった」とコメント。

来たるべき大舞台に向けた課題については、「今できるトリックの中でも、完成度をさらに高める必要がある」と述べ、技術、高さ、着地の完成度、オリジナリティのバランスを磨き続ける重要性を強調しました。

また、挑戦を続けるモチベーションについては、「技術が進化していく中でも、自分らしさやオリジナリティを忘れてはいけない」と語り、「自分自身を乗り越えられるような姿で挑戦していきたい」と力強く表明。体力の変化を感じながらも、「今まで以上に練習と向き合っていかなければならない」と語るなど、限界を超えるアスリートとしての飽くなき挑戦が印象的なセッションとなりました。

■TCLについて <https://www.tcl.com/jp/ja>

TCLは、中国発で世界屈指の総合家電製品メーカーです。TCLは、日々のイノベーションにより、お客様方の「クリエイティブライフ」を支える商品を提供し続けることに創業以来心がけております。そして、ネットワーク動画再生技術および、TCLグループ製の液晶パネルの先端技術を活かした高品質の液晶テレビをお客様へお届けしております。今後も、液晶テレビを販売供給するにあたり、万全なる品質管理と充実したアフターサービスを最大の目標として掲げ、日々製品の品質向上に努めてまいります。

TCL